

「はなやか関西・文化戦略会議」の検討状況について

平成28年4月28日
広域観光・文化・スポーツ振興局

■国等の動き

- ◇平成27年7月 文化庁が「文化プログラムの実施に向けた基本構想」発表（20万件のイベント等）
- ◇平成28年1月 組織委員会が「アクション&レガシープラン(中間報告)」公表 ⇒ 夏に成案公表
- ◇ " 3月 内閣官房等が「beyond2020 プログラム」の推進について合意
⇒ 試行プロジェクト（上限1千万円程度、最大30件程度）の公募開始予定
- ◇ " 10月 文部科学省主催「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」を京都・東京で開催

■関西広域連合の動き

- ◇第4回戦略会議（7月29日）、作業部会（6月24日）開催
2020年に核となる広域連合主体のイベント具体例案について検討（※9月5日連合委員会報告済）
- ◇第5回戦略会議（2月15日）

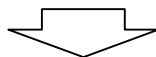
＜主な意見等＞

- ・ 構成府県市が公平平等、一律に参加するのは難しい。
- ・ 財政的な裏付けがない。官民合わせて既にある事業、実施予定の事業を積み上げれば十分色々なことができる。少ない予算でうまく工夫し、あとは全部乗ってくるようなことができないか。
- ・ 1ヶ所で開催するのでは有り難みがない。複数の場所をつなぎゾーンの魅力を発信すべき。
- ・ 文化庁の動きにも注意し、関西地域でのアーツカウンシル立ち上げの可能性を検討してはどうか。

◇戦略会議における広域連合主体の事業アイデア案

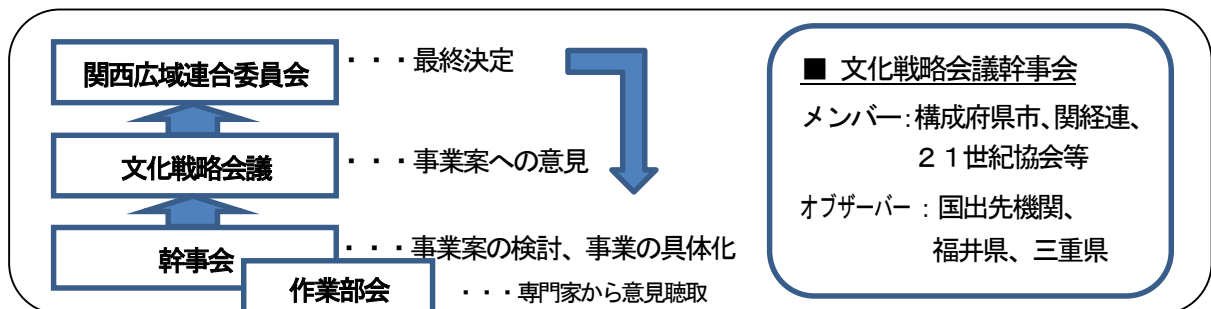
◎これまでの取組成果を活かし、各府県市の文化の魅力をつなぎ発信

- ・ 「はなやか関西・伝統芸能フェスティバル」の開催
- ・ 「関西アーティスト・イン・レジデンス フェスティバル」の開催
- ・ 「関西文化の日」のオリンピック・パラリンピック期間中の開催



◎平成28年度は、文化戦略会議幹事会（構成府県市、経済界等）で具体の実施可能な事業を検討

参考：実施事業決定フロー



■今後の進め方（案）

